

土壤凍結地帯の放牧利用向け牧草新品種メドウフェスク「まきばさかえ」

牧草「まきばさかえ」は平成24年度に品種登録された、越冬性と収量性に優れる土壤凍結地帯向きの集約放牧用メドウフェスク品種です。

北海道立総合研究機構根釧農業試験場と共同で育成しました。「まきばさかえ」の利用により、飼料自給率を高め、低コスト生産が可能な集約放牧のさらなる普及が期待されます。北海道の優良品種として採用され、平成25年春より種子の販売が始まりました。

■特徴

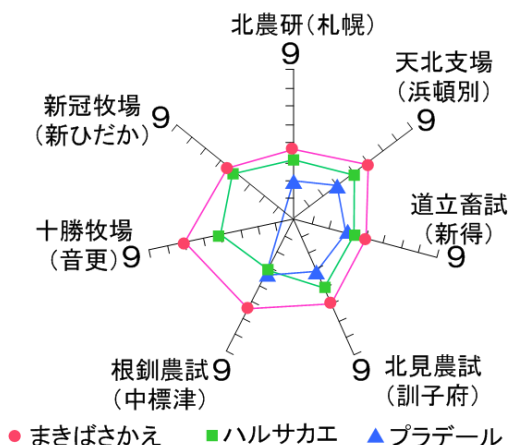
- ・越冬性は、雪腐病抵抗性の向上により「ハルサカエ」より安定して優れます。
- ・短草管理での乾物収量は、「ハルサカエ」より多収で、季節別には春季と秋季に優れます。
- ・放牧条件下での被度、放牧前草量は「ハルサカエ」より優れます。
- ・飼料成分は「ハルサカエ」と同程度です。

■種子の入手方法について

- ・ホクレン農業協同組合連合会、雪印種苗株式会社、タキイ種苗株式会社、カネコ種苗株式会社などから販売されています。

■「まきばさかえ」の越冬性

(1:極不良9:極良、3か年平均)



■越冬後の再生状況(根釧農試)

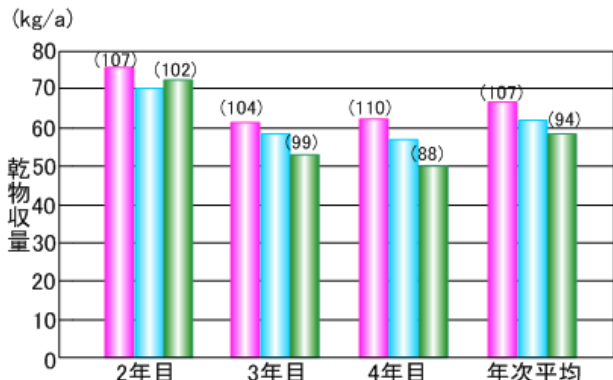


まきばさかえ

ハルサカエ

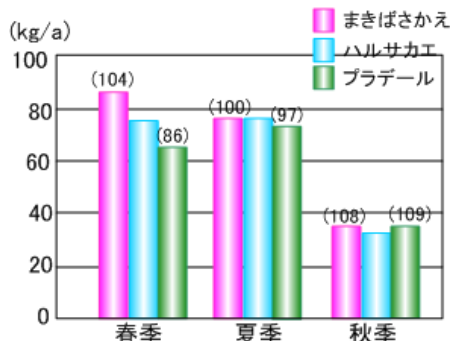
■土壤凍結地帯における短草・多回刈りでの乾物収量

●年間乾物収量



(年間合計収量の道東4場所平均、道東4場所は畜試、北見農試、根釧農試、十勝牧場。括弧内数値はハルサカエ比)

●季節別の乾物収量



(播種年を除く3か年合計の道東4場所平均、括弧内数値はハルサカエ比。春季は5-6月、夏季は7-8月、秋季は9-10月。)